

発注企業動向調査結果

-2014.10-

■調査時点 平成26年9月調査(平成26年9月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

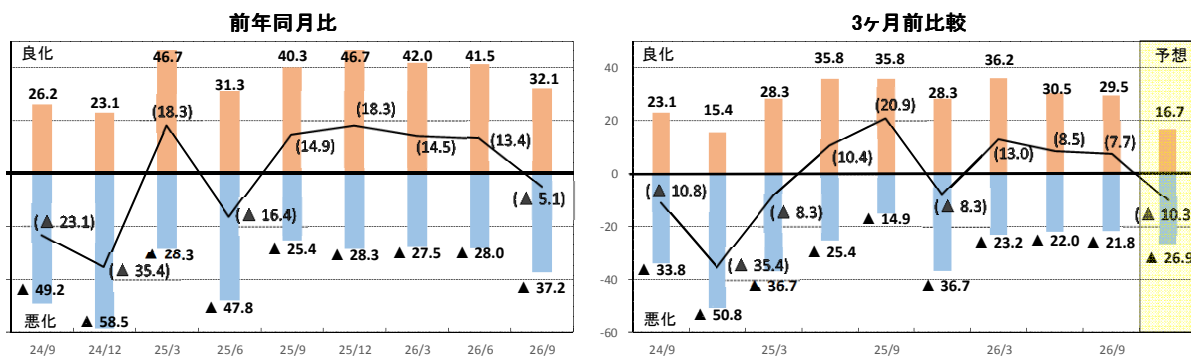
■回答企業 78社(回答率: 52.00%)

<業種内訳>

プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	9社
一般機械器具	13社
電気機器	15社
輸送用機器	13社
精密機器	3社
縫製	6社
計	78社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

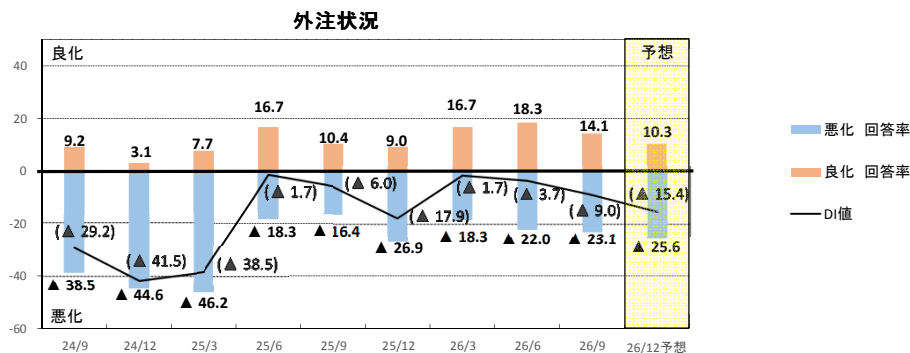
●生産高



	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12(予想)
前年同月比	▲23.1	▲35.4	18.3	▲16.4	14.9	18.3	14.5	13.4	▲5.1	
3ヶ月前比較	▲10.8	▲35.4	▲8.3	10.4	20.9	▲8.3	13.0	8.5	7.7	▲10.3

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●外注状況



	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12(予想)
外注状況	▲29.2	▲41.5	▲38.5	▲1.7	▲6.0	▲17.9	▲1.7	▲3.7	▲9.0	▲15.4

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは(▲5.1)で前回(13.4)から18.5ポイント減の大幅悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは(7.7)で前回(8.5)から0.8ポイント減の悪化となった。
- ・外注状況は(▲9.0)で前回(▲3.7)から5.3ポイント減の悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲10.3)で18ポイント減、外注状況が(▲15.4)で6.4ポイント減の悪化となった。
- ・消費税増税の影響が続いており、生産高は悪化傾向がみられる。
外注状況についても為替が円安傾向にあるものの、大手企業の海外での現地調達・現地生産の流れは変わらず、国内の外注状況は依然として良化の動きはない。